

今までも、
これからも

たのし たつの市 輝く未来へ

市制20周年記念誌

たつの市

市勢要覧

CONTENTS

- 01 発行に寄せて | 姉妹都市
- 03 たつの市のあゆみ
- 07 たつの市進行中プロジェクト
- 10 播磨科学公園都市
- 11 教育環境
- 13 地域と教育
- 15 地場産業 手延素麺・醤油・皮革
- 18 特産品
- 19 歴史・文化
- 21 自然・観光
- 23 たつのゆかりの偉人たち
- 24 ふるさと親善大使からのメッセージ
- 25 たつの歳時記
- 29 たつの市マップ

市章

Tを図案化し、光豊かな太陽と実りの大地、揖保川から湧き立つ清風を赤、緑、青の3色で描き、自然に恵まれた市域と未来への飛翔を表現しています。



市花《さくら》

バラ科に属し、日本に多くの品種があります。



市木《うめ》

中国原産のバラ科に属する木で早春に白・紅・薄紅の花が開き、万葉以来日本人から愛されています。

姉妹都市

FRIENDSHIP TOWN



高知県安芸市

平成元年4月に姉妹都市提携
安芸市は、三菱の礎を築いた岩崎彌太郎の生誕地、いわゆる三菱源流の地、そして、童謡「浜千鳥」「雀の学校」などの作曲家、弘田龍太郎の出身地であり、たつの市と同じく童謡の里づくりを進めていることから交流を深めています。



東京都三鷹市

平成13年3月に姉妹都市提携
三鷹市は都立井の頭恩賜公園をはじめとする緑豊かな環境に恵まれています。赤とんぼを作詞した三木露風が三鷹市で後半生を過ごした縁により、出身地であるたつの市と絆を深めています。



滋賀県長浜市

平成13年3月に姉妹都市提携
長浜市は琵琶湖北部にあり、京阪神、中京、北陸の結節点として栄えています。江戸時代に旧湖北町（現長浜市）出身の脇坂氏を龍野藩主として迎えたことから、歴史的なゆかりの地として交流を重ねています。



ワシントン州コビントン市

平成27年10月に姉妹都市提携
コビントン市は、カスケード山脈とビュージェット・サウンドの間に位置する、自然と都市機能が調和した成長中のまちです。住民参加や持続可能性、新しい発想や取組を大切にし、地域で暮らす人や働く人全てのために明るい未来を築き続けています。

発行に寄せて

たつの市は、個性豊かな4つの地域が一つとなり本年、市制施行20周年を迎えました。この間、「市民が主役」を基本姿勢に、「子育て環境の充実」や「デジタル化の推進」、「安全安心な住環境の整備」、「新たな賑わいの創出」など、皆様と共に持続可能なまちづくりに取り組んでまいりました。

この大きな節目に、これまでの歩みを振り返るとともに、地域の魅力や四季折々の自然、伝統行事、歴史的景観を取りまとめました。

この市勢要覧を通じて、ふるさと「たつの」への誇りと愛着を、より一層深めていただければ幸いです。

たつの市長 山本 実



これからも 住み続けたいまち 「たつの市」

「たつの市は龍野市、新宮町、揖保川町、御津町が合併して誕生し、令和7年で20周年を迎えました。市を縦断する揖保川を中心に、北にそびえる山々、南には瀬戸内海が広がる自然豊かな景色は住む人に癒やしをもたらしてくれま

さらに市内には歴史を身近に感じることができ、江戸時代の面影を残す町並みや神社仏閣があります。また、童謡赤とんぼの作詞者三木露風や哲学者として名高い三木清などの文化人を多数輩出するなど、思わず自慢したくなるまちの魅力が溢れています。

地域の資源や技術を生かして培われてきた地場産業は、今も栄え続け、新たな最先端技術を活用した産業も集積されつつあります。また、近隣の都市へアクセスしやすい場所にあることも暮らしやすさのポイントで、生徒たちは海や山を眺めながら心穏やかに通学し、多様な学びを深めています。そんな自然や歴史、産業と調和のとれた、「住み続けたいまち」たつの市の魅力を紹介します。



たつの市は、兵庫県の南西部の西播磨地域に位置しており、南北に長い地形です。東西15.7km、南北29.8kmで210.87km²の面積を有します。



たつの市
イメージキャラクター 赤とんぼくん

あかねちゃん



たつの市龍野伝統的建造物群保存地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定
全国で119番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

兵庫県・播磨広域
合同防災訓練
合同防災訓練に市民、警察、
消防、自衛隊等、70機関
約1,500人が参加しました。



三木露風
生誕130年
記念事業
年間を通して三木露風
生誕130年記念事業
を周年展開し、三木露
風賞新しい童謡コン
クールでは過去最多の
応募となり、海外から
の応募もありました。

童謡の里づくりのまち
交流協定締結
童謡が世代を超えて歌い継
がれることを目指し、福島県
広野町と童謡の里づくりの
まち交流協定を締結しまし
た。



醤油の郷
大正ロマン館
オープン
新たな観光交流拠点
として龍野地区にオー
プンしました。



市民乗り合いタクシー
「あかねちゃん」運行開始
誰もが住みやすい便利なまちづくりを推
進するため市民乗り合いタクシー「あか
ねちゃん」の本格運行を開始しました。



定住自立圏形成協定締結
たつの市が中心市となり宍粟市、上郡町、
佐用町と協定を締結しました。

たつの市の あゆみ

～未来へつなぐ記念の記録～

「たつの市」が誕生して20周年を迎えました。市民
の皆様と共に歩み、新しいたつの市が築かれてきま
した。たつの市のこれまでのさまざまな取組を振り
返し、これからもより住みやすいまちを目指して未来
へ進んでいきましょう。

2019

(平成31年・令和元年)

2018

(平成30年)

2017

(平成29年)

2016

(平成28年)

2015

(平成27年)

2005

(平成17年)

子育て支援の充実と 文化財の活用

- 市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」利
用者10万人を達成
- 母子健康支援センターはつらつを開設
- 小中学校普通教室の空調設備の整備開始
- 高知県安芸市との姉妹都市提携30周年
の節目を祝い、両市で記念事業を展開

未来応援 住みたいまち たつの

- 中学校学校給食費を無償化し、子育て
支援を強化
- たつの市民病院の地方独立行政法人化
を決定

新市政スタート

- 第2次たつの市総合計画を策定
- 総合的な子育て相談窓口として、子育
て応援センター「すくすく」を開設
- 福祉の幅広い相談に対応するワンストップ
窓口として、「ふくし総合相談窓口」
を開設

さらなる飛躍の礎を築く

- たつのふるさと親善大使を創設し、本市
の魅力を全国に発信
- そうめんサミット2016を開催し、そ
うめんの魅力を全国に発信
- JR姫新線年間乗車人員300万人を
達成し記念式典で「チャレンジ300万
人乗車作戦」の目標達成を祝う
- 子育てさらさらクーポン券を発行し、
子育て世帯の家計を支援

きらめく未来へ！ はばたけ たつの

- 市制10周年記念誌たつの市市勢要覧発
行
- 市立認定こども園3園を含めた、計7
園の認定こども園が開園
- 中央学校給食センター建設工事に着手
- まち未来創生戦略・人口ビジョンを策定

たつの市制スタート

- 10月1日、龍野市、新宮町、揖保川町、御
津町の1市3町が合併し「たつの市」が
誕生



室津の北前船関連文化財日本遺産認定
室津の北前船に関連する文化財が日本遺産に認定されたことを受
けて、室津漁港で記念イベントが開催されました。



市長対話広場開始
市長が地域へ外向き、市民の皆さんと直接意見交換
を行う市長対話広場事業を開始しました。



山本新市政スタート
山本実新市長が就任し、「市民が主役」
をモットーに子育て世代、高齢者にやさ
しいまちづくりを目指し新たな市政がス
タートしました。



中央学校給食センター完成
市内全6中学校を含む16校園に安全でおいしい給食の
提供を開始しました。



市制10周年記念式典
小学4年生による10歳の誓いなど市制10周年をみんなで祝
いました。



たつの市 開市・開庁式

園児に米飯を取り入れた給食を提供開始
市立認定こども園に通う3歳以上の園児に米飯を取り入れた給食の提供を始めました。



JR竜野駅橋上駅舎・自由通路供用開始
駅舎の橋上化により交通結節機能が強化されました。



たつのこナビ運用開始
妊娠から出産・子育てまでに役立つ機能が満載で、母子健康手帳と併せて利用できる無料の子育て応援アプリの運用を開始しました。



全国京都会議初開催
播磨の小京都龍野で、全国京都会議が初めて開催され、各地の小京都・京都ゆかりのまちが集いました。



たつのこナビ運用開始
妊娠から出産・子育てまでに役立つ機能が満載で、母子健康手帳と併せて利用できる無料の子育て応援アプリの運用を開始しました。

構教育集会所・総合隣保館完成
人権尊重のひとづくり、まちづくりの拠点となる構教育集会所と総合隣保館が完成しました。



敬老えらべるギフトカタログ事業開始
数え年75歳以上の方に、地場産品やサービスなどの中から好みの一品を選んでいただく新たな敬老事業を開始しました。



御津総合支所等複合施設完成
公共施設の統廃合による機能の集約と新たな地域交流の場として再編された御津総合支所等複合施設が完成しました。



神部泰田公園完成
広いグラウンドと遊具があり、子どもの遊び場や地域住民の憩い・レクリエーションの場となる公園が完成しました。



遺跡北公園リニューアル
遊具の周りに人工芝を張った、子どもたちが元気にいっばい遊べる広場と、地域住民の憩いとレクリエーションの場となるグラウンドが完成しました。



市役所本庁舎新館完成
市役所本庁舎新館が完成しました。



令和跨線橋開通
揖龍南北幹線道路に「令和跨線橋」が開通し南北のアクセスが向上！コミュニティバスに令和跨線橋ルートが新設しました。



2025
(令和7年)

2024
(令和6年)

2023
(令和5年)

2022
(令和4年)

2021
(令和3年)

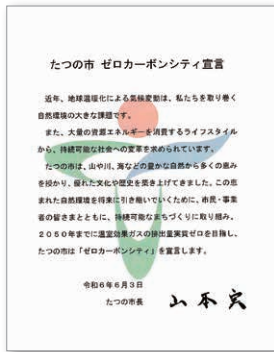
2020
(令和2年)

輝く未来へ新たな成長
市道竜野駅前南線が供用開始
こども医療費が完全無料化

次世代につなぐまちづくり
65歳以上の中等度難聴の方へ補聴器購入費の助成を開始
妊産婦から全ての子ども、保護者までを包括的に相談支援する、たつの市こども家庭センター（はつらつすくすく）を開設
健やかな子どもの成長と豊かな感性を育む木育を推進するため、ベビー木育ギフトを開始



小・中学校給食費完全無償化
おいしく、栄養バランスのとれた給食を完全無償化し、提供を開始しました。



ゼロカーボンシティを宣言
たつの市の恵まれた自然環境を次世代に引き継いでいくために、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して宣言しました。



ランドセル用背あてパッド全児童に配布
熱中症対策の一環として、軽量保冷剤付きの背あてパッドを全児童に配布するとともに、保冷剤を冷却するための冷蔵庫を全ての小学校に配備しました。



書かない窓口サービス開始
本人確認書類を提示し、簡単なヒアリングに答えるだけで申請書が作成できる書かない窓口サービスを開始しました。

夢が広がる未来のかたち
離れて暮らす家族も安心、ICT活用高齢者見守り支援事業を開始
おくやみ相談窓口を開設
市内全小学校に電子黒板を設置

- 龍野地区まちづくりビジョンを策定
- 第2次たつの市総合計画後期基本計画が始動
- 西播磨初、パートナーシップ宣誓制度を導入
- たつの市公式LINE運用開始
- 市営駐車場（下川原）内の蔵を、休憩施設として整備



北学校給食センター完成
北学校給食センターが完成し、中央学校給食センターとの2センター方式で、市内全ての小・中学校に安全でおいしい給食の提供を開始する準備が整いました。

- ウイズコロナ
新しい未来への挑戦
たつの市防災マップを作成し、市内全世帯に配布
- 室津小学校閉校記念式典を開催し御津小学校と統合
- 高校生等に対する入院医療費助成を開始
- 産前産後家事支援費助成事業、妊産婦へのタクシー利用料金助成を開始
- 山本実氏が再選
- 北学校給食センター建設工事に着手



新型コロナワクチン集団接種
新型コロナワクチン集団接種模擬訓練を実施し、市民の命を守るため県内で最も早く高齢者向け集団ワクチン接種を開始しました。

祝入学支援事業

小学校入学時に必要な文房具等を入学祝い品として贈呈する祝入学支援事業を開始しました。



- 子育てするならたつの市
地方独立行政法人たつの市民病院機構発足
放課後児童クラブ土曜日通年開設および龍野子育てつどいの広場土曜日開設
- 兵庫県に新型コロナウィルス感染症の緊急事態宣言が発令され、感染防止対策を実施
- 児童生徒1人1台の端末や校内通信ネットワークを整備し、教育ICT環境の整備を図るGIGAスクール構想推進事業を開始



はつらつベビーまごころ便開始
新生児が生まれた家庭へ生後2か月と5か月に紙おむつ等を無料で届ける「はつらつベビーまごころ便」を開始しました。

01 JR本竜野駅周辺がより便利で快適に 中心市街地複合施設基本構想策定事業

たつの市立小宅公民館の建て替えにあたっては、生涯学習の充実および市民活動の拠点としての機能強化に加え、中心市街地に位置しJR本竜野駅にも近接する立地を生かし、地域交流の促進や賑わいの創出を通じて、地域活性化に寄与する複合施設の整備を目指しています。

その実現に向けて、地域住民の多様なニーズを反映した基本構想の策定を進めています。



02 龍野インターチェンジ周辺が便利で快適に 龍野インターチェンジ周辺地区まちづくり事業

山陽自動車道龍野インターチェンジ(龍野IC)周辺については、龍野IC周辺地区土地区画整理組合による土地区画整理事業が進められています。市が都市交流拠点にふさわしい公共施設整備や街区形成等を支援し、交流人口の増加、消費活動や生産活動の活性化による新たな賑わいの創出を目指しています。令和4年12月に龍野IC周辺地区事業化パートナー企業が選定されたことから始まり、令和6年12月20日付けで兵庫県知事より組合設立認可を受け、令和7年1月に龍野IC周辺地区土地区画整理組合が設立されました。今後は、仮換地指定などを行い、令和13年度の事業完了を目指します。



03 教育施設と防災拠点を兼ね備えた 新宮地域小中一貫校整備事業

少子化により小・中学校の小規模化が進む中、望ましい学校規模を維持するため、新宮中学校区内の全ての小学校(西栗栖・東栗栖・香島・新宮・越部)を統合し、新宮中学校と一体化した(仮称)はりま新宮小中一貫校を、令和10年4月に開校するため、準備を進めています。

小中一貫校は、新宮小学校の敷地に、新宮こども園や新宮スポーツセンターなどを加えたエリアに建設する予定であり、新宮スポーツセンターは小中一貫校の体育館として活用します。これに伴い、新宮こども園も現在の場所から移転し、整備します。小・中学校が一貫して教育を行い、地域との連携や交流を深めることで、子どもたちの学びと育ちを支える学校を目指します。





©RIKEN

播磨科学公園都市

科学技術を革新するSPring-8-II

SPring-8を高度化することで世界最先端の放射光施設を整備し、さまざまな分野の課題解決にも大きく貢献することが期待されています。

広がる地域の賑わい

芝生広場では、毎年「西播磨フロンティア祭」が盛大に開催され、次世代科学技術の展示・体験、地域団体の活動発表などを通して、西播磨の賑わい創出、地域の連携・交流を促進しています。



先端技術の集積

播磨科学公園都市には、バイオ、医療、材料開発など多様な分野の先端企業が集積し、研究機関との連携によりイノベーションを生み出しています。



地域を超えたサッカーの交流拠点

播磨科学公園都市のサッカー場は、地元だけでなく他地域との交流を深める重要な拠点として活用されています。県内・県外のチームを招いた大会を通じて、地域の絆を強化し、広範なスポーツ文化の発展に寄与しています。



地域内の教育機関が連携する学びの環境

小学校から大学まで地域内に所在し、地域全体で教育を支え合う環境が整っています。学生たちは、地域の教育機関や学びの場で得た知識をもとに、学びを深め、次世代の人材として成長しています。



播磨科学公園都市圏域定住自立圏

地域同士が互いに連携・協力し、住みやすい環境を作り、人々が住み続けたいような地域にすることを目指す取組です。

たつの市が中心市となり、「播磨科学公園都市」を核とした生活圏や経済圏を共にする宍粟市、上郡町、佐用町と連携し「住みやすいまちづくり」を推進していきます。



圏域バス「てくてくバス」

播磨科学公園都市圏域内の公共交通ネットワークの充実を図るため、播磨科学公園都市を結節点として、たつの市と上郡町を結ぶ圏域バス「てくてくバス」を運行しています。圏域バスは、JR播磨新宮駅では姫新線・路線バス・コミュニティバス・市民乗り合いタクシーと接続し、JR上郡駅では山陽本線・智頭急行・上郡町コミュニティバス等と接続しています。



光都バスセンター

てくてくバス

TATSUNO CITY ONGOING PROJECT 2025

04 交通渋滞を緩和 宍粟新宮線(宮内バイパス)

たつの市と宍粟市を結ぶ主要地方道の宍粟新宮線は信号交差点と踏切が短区間で連続し、渋滞が発生するため宮内バイパスを整備し、円滑な交通の確保を目指します。



06 市街地から兵庫県立龍野北高等学校へのアクセス向上 新宮中央線道路新設改良事業

JR播磨新宮駅から兵庫県立龍野北高等学校へ向かう栗栖川沿いの道路は、道幅が狭く通りにくいため、市道の整備を行うことで、安全性と利便性を向上させます。



市道新宮中央線

08 地域の安全安心を向上 半田・神部中央雨水幹線

馬路川流域では大雨による浸水被害が生じることがあったため、浸水リスクを抑えることを目的に、効率的に雨水を排出する雨水幹線の整備が進められています。これにより、周辺の道路や住宅に対する影響を最小限に抑えることができます。



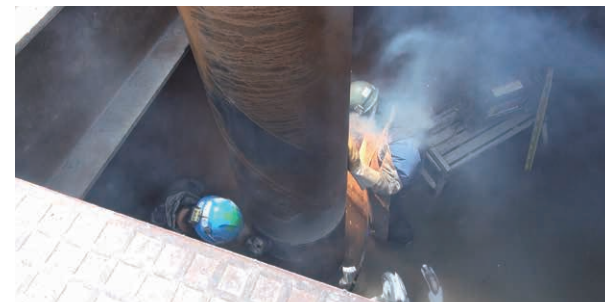
05 過去の災害を繰り返さないために 栗栖川まちづくり連携治水対策事業

これまで、栗栖川の度重なる洪水により周辺地域で浸水被害が発生したことがあります。令和3年度から国土交通省が築堤や河道掘削、たつの市の市道整備と連携した橋梁架替を進めており、昭和51年9月洪水と同規模の洪水に対して浸水被害を防止し、更なる安全を目指しています。



07 新たな浸水対策でより安全に 片島・ひばりヶ丘ゲートポンプ設置

馬路川の水位が上昇した際の逆流防止のために整備するポンプ場です。「ポンプゲート」と「切替ゲート」を開閉することにより運用し、逆流が生じる水位に達した際には「閉」とし、ゲートポンプで排水することで、浸水対策を行います。



09 地域の絆を深める場所に 人工芝多目的グラウンド整備

御津北グラウンドを人工芝敷設のグラウンドとして整備することで、さまざまなスポーツや子どもたちの体力づくりの場など、多岐にわたる用途に活用できます。多世代の交流や多様なスポーツの拠点として、地域コミュニティにとって貴重な資源となります。



これからの未来を切り拓く 子どもたちへ

タブレットを効果的に活用した情報活用能力の育成 市内小学校・中学校

たつの市のサポートで進化する！
子どもの主体性を育む
GIGAスクール構想

令和6年度から、たつの市立
龍野東中学校では文部科学省
のリーディングDXスクール事
業の指定校として、タブレット
を活用した効果的な教育実践
の創造・モデル化に取り組んでい
ます。「主体的・対話的で深い学
び」の実現のために1人1台の



中学校

タブレットを活用しています。
また、1校につき1人以上の
GIGAリーダーを配置し、年
に3回以上の研修会も実施し
ています。
授業を受ける生徒の様子は、
従来の授業風景とは異なり、一
人一人が主体となって積極的に
調べ、仲間と協力しながら分析
し、答えを導き出しています。
子どもたちを中心とした授業
で将来必要とされる力を培っ
ています。



大阪・関西万博でのタブレット活用

たつの市立龍野東中学校と
同じく令和6年度から、たつの
市立小宅小学校も指定校とし
て、また令和7年度から、たつ
の市立誉田小学校とたつの市
立神岡小学校が協力校とし
て、文部科学省のリーディング
DXスクール事業においてタ
ブレットを活用した授業を行っ
ています。小学校から小中一貫
した教育活動を行い、タブレッ
トを「文房具」同様に学びに必
要なツールの1つとして活用
しています。令和7年度開催の
大阪・関西万博には児童たち
がタブレットを持参し、撮影や
情報収集を行い、発表するな
ど「協働的な学び」を実施して
います。また、通学ができない
状況であってもタブレットを使
用して学習するなど、それぞ
れの児童生徒に合った学び方
を取り入れ、他者と協力しな
がら学ぶ力を育てています。



「どうして?」「やってみよう!」など 心の動きが学びの根っこ

体験を通した学び 保育所・認定こども園

市内の保育所や認定
こども園では、子どもの
主体性を育むために、さ
まざまな体験を大切に
しています。地域の方か
ら自然遊びや昔遊びを
教えていただいたり、畑
で野菜の収穫をさせて
いただいたりするなど、
たつの市の地域資源を
活用し、園外との関わり
を積極的に持つことで、
園内の人・自然・物との
関わりだけでは得られ
ない、より広い体験の機
会を子どもたちに提供
しています。
こうした体験の中で、
子どもが感じる「どうし
て?」「やってみよう!」
といった心の動きこそ
が、「学びの根っこ」です。
これらの感情が、就学以
降の「学び」へとつながっ
ていきます。



小学校



グローバル化する社会に…

たつの市
が応援!

小・中学生の英語検定料を補助
子どもたちが夢を実現できるように



たつの市独自の取組として、令和
3年度から公益財団法人英語検定
協会が実施する実用英語技能検定
の受験費用の補助を行っています。
子どもたちが夢を実現できるよう、
経済的な負担を軽減することで、
多くの子どもたちがチャレンジ
し、資格を自信に変え、グローバル
な社会に羽ばたくきっかけの一
つとしてほしいと思います。

子どもたちが、たつの市のサポートを受けながら学びの連続性と系統
性を生かして成長できる小中一貫教育。学力や社会性を育む教育が、
子どもたちの可能性を広げる新しい未来型の授業を実現しています。
1人1台のタブレットを活用した授業では、充実したICT教育を実
施。さらに、グローバル化が進展する社会に対応するため、英語検定の
資格取得を推進し、その一環として検定料の補助も行っています。

学生との交流で 地域の人をもっと笑顔に

たつの市内には2校の高等学校と2校の特別支援学校があり、市内外から生徒たちが通学し日々学んでいます。高等学校では市内の中学生や地域の方々との交流、特別支援学校でも実習作品を通して地域の方々とのつながりがあり、市民にとっても両校に通う生徒にとってもお互いに大切な存在となっています。

未来をつくる創造力を有し、 世界で活躍する サイエンスリーダーの育成

スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 兵庫県立龍野高等学校

兵庫県立龍野高等学校では、文部科学省が定める先進的な理数教育を実施する研究開発校、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の研究指定を受けています。実験や観察を行い、将来の研究者や技術者としての基礎を築いています。

年に一度、理系分野の研究の最前線で活躍する大学教員や大学院生を講師として招き、兵庫県立龍野高等学校の生徒と、たつの市内をはじめ近隣の中学・高校生たちと一緒に「実験講習会」を行っています。大学教員の指導の下、テーマに沿った実験を高校生が中心となり行います。参加した中学生たちへの声かけなど協力しながら実験を行い、実験結果の考察や意見をまとめてグループ別に発表します。個人やグループでの意見や考えの違いは、多面的に考察することの大切さや議論する意義等について考える貴重な時間となっています。



実験後の講演では、大学院生による研究発表を聴き、大学教員や大学院生を交えた座談会では、高校生や中学生たちが、大学での授業の内容や生活、将来の仕事についての質問などを和やかな雰囲気の中

で行います。
中学生・高校生・大学院生との縦の交流により、生徒たちの将来のイメージが形となり、「科学の夢」や「科学を楽しむ心」がより一層高まる良い機会となっています。



地域と学校がつながり、 あふれる笑顔と 「ありがとう」の言葉

学校デイサービス 兵庫県立龍野北高等学校



年に一度、兵庫県立龍野北高等学校近隣に暮らす高齢者の皆さんが楽しみにしているイベント、学校デイサービス「端午のつどい」が開催されます。たつの市社会福祉協議会や民生委員の協力もあり毎年多くの参加者で賑わいます。生徒がこの日のために伝言ゲームや折り紙などを考え、誰もが楽しめるよ



う高齢者に寄り添ったプログラムを企画します。参加者の女性には「若い子と話すの楽しくて、いつも元気がもらえる」と笑顔で話し、生徒からは「参加者の笑顔と『ありがとう』の言葉で、やってよかったです」と喜ぶ声が。生徒と地域の高齢者をつなぐ、なくてはならない大切な恒例行事となっています。

商品の先にある「笑顔」を思い、製作活動

お客さんの声や笑顔で 商品作りにやりがい

兵庫県立西はりま特別支援学校

播磨科学公園都市の自然豊かな場所にある兵庫県立西はりま特別支援学校では、作業学習として陶器や焼き菓子、木工や革細工などの製作を行っています。製品は、毎年11月に行われる「たつの市民まつり」で生徒たちが販売し、毎年多くの市民で賑わいます。接客から製品作りの意義や価値を学び、次の製品作りの励みになっています。



地域の人々の喜びが 作る気持ちの原動力に

兵庫県立播磨特別支援学校

たつの市役所の多目的ホールにて専門教科で製作した製品を販売しています。皮革製品の材料などはたつの市内の企業から提供を受け、日々の活動に活用しています。陶器のお皿は使いやすいサイズなど、お客さんの意見に応じて改良すること。木工製品や花の寄せ植えなどもあり、市民から好評です。

